

事業番号	15 08 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	社会教育を推進する施設の運営事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	生涯学習課
			実施期間	S24 ~	E-mail	shogai @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

- ・地域社会において住民が相互に学び合い、地域課題の解決に参加していくことが必要であるが、それらを促す人材の育成が求められている。
- ・デジタル化の進展に伴い様々なデジタルデバイド（インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差）が生じる中、誰もが主体的に社会参画するために、必要な情報に等しくアクセスできる基盤とリテラシー獲得の機会を充実する必要がある。
- ・少子化や核家族化、デジタル化が進み子どもたちの体験活動の機会の減少や格差が課題となっているため、青少年の健全育成に不可欠な体験活動の機会を提供していく必要がある。

2 事業目的

- ・地域リーダーや公民館職員の資質向上に関する学びの機会を提供する
- ・デジタル情報基盤の充実等を通じて、誰もが生涯にわたり学びにアクセスしやすい環境を充実する
- ・子どもたちの「たくましく生き抜く力」や「自然を大切に作る心」を育成するため、自然体験活動の拠点を運営する

3 事業目的を達成するための取組

- ①生涯学習推進センターの講座を充実**
生涯学習推進センターにおいて、県内外の講師を招聘して、地域の課題解決に取り組む人材を育成する講座を開催する。社会教育士等の実力向上に向けた取組を進める。オンラインと対面を有効に組み合わせながら、受講しやすい講座充実させる。
- ②県立長野図書館のサービス・情報資源のデジタル化推進**
市町村と連携して「市町村と県による協働電子図書館“デジとしよ信州”」の運営・利用促進を図るほか、県立長野図書館としての電子書籍サービスの充実、所蔵資料デジタル化の促進など、サービスや情報資源のデジタル化推進を図る。
- ③少年自然の家の管理運営**
望月・阿南少年自然の家の管理運営を行う。指定管理者と連携し教育効果・専門性の高い体験プログラムの開発・普及や自主事業の充実を図る。

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	生涯学習推進センター開催講座の募集人員の充足率	%	57.3	85.4	↗	79.1	↘	85.0	未達成	募集人員の8割以上の充足率を目指す。	
②	市町村と県による協働電子図書館の利用登録者数	人	10,780	18,281	↗	25,570	↗	29,100	未達成	R4.8からスタートした「市町村と県による協働電子図書館」の利用登録者数を指標として設定。	
③	少年自然の家利用者数	人	18,637	23,888	↗	27,730	↗	28,000	未達成	コロナ禍前（令和元年度）の約80%までの回復を目指す。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
5-4①	学びの共創による地域づくりの推進と生涯を通じた多様な学びの創造	県民一人当たり年間貸出冊数(公立図書館・電子図書館)	冊	2022 (R4)	5.6	2023 (R5)	5.5	2024 (R6)	5.5	2027 (R9)	6
5-4①	学びの共創による地域づくりの推進と生涯を通じた多様な学びの創造	社会教育士の数	人	2022 (R4)	33	2023 (R5)	50	2024 (R6)	68	2027 (R9)	110

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	269,454	5,489	274,943	254,079	266,557	25.0
R5年度	106,907	281,589	3,344	391,840	244,300	380,899	25.0
R4年度	0	407,471	11,936	419,407	381,169	303,491	25.0

事業番号	15 08 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	社会教育を推進する施設の運営事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	生涯学習課	

7 主な取組実績と成果

①生涯学習推進センターの講座を充実

・参集による対面とオンライン活用によるハイブリッド研修を積極的に行ってきた。地域づくり推進研修26講座、学校と地域の連携推進研修2講座、地域の教育力向上研修4講座、施設開放1講座、スポット研修6講座を実施し、延べ2,007人が参加した。
・講座終了後、YouTubeを使って講座の後日配信を実施した。

②県立長野図書館のサービス・情報資源のデジタル化推進

・「市町村と県による協働電子図書館“デジとしよ信州”」について、特に学校教育との連携や多様な学びの場における活用のほか、読書バリアフリーの推進等に努めた。
・県立長野図書館が所蔵する大正・昭和初期の資料150点の電子化を進め、著作権保護期間が満了したものを順次デジタルアーカイブシステム「信州デジタルコモンズ」へのアップロードを進め、誰もが信州の地域資源にアクセスできる環境の充実を図った。
・県民及び県内図書館・博物館職員を対象とした情報リテラシー向上を図るための研修会を2回開催した。

③少年自然の家の管理運営

・小・中学校の学校行事での利用など、受入指導事業について、経験豊富な職員による質の高い、かつ、きめ細やかなサービスを提供し、利用者からは好評を得ている。
・自然豊かな環境等を生かしたキャンプ事業を始め、教育効果・専門性の高い自主事業を24回程度開催した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標	内容	R5年度推移	変化	R6年度推移	変化	達成状況
指標①	生涯学習推進センター開催講座の募集人員の充足率	R5年度推移	↗	R6年度推移	↘	達成状況 未達成
全体では昨年度を下回っている。会場参集の充足率は前年度と比べてあまり大きな変化はなく、オンラインも充足率は高く、遠方でも気軽に参加できることから高いニーズがある。ただし、特定のテーマや講師に参加者が集中する傾向があるため、引き続き県民のニーズに沿った幅広い講座テーマの設定や魅力ある講師に努めていく必要がある。						
指標②	市町村と県による協働電子図書館の利用登録者数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況 未達成
学校における児童生徒の登録・活用を図るため、全市町村と県により構成される「市町村と県による協働電子図書館運営委員会」において、学校での一括登録方法の改善や各校への教職員用デモID貸与などを行い、「デジとしよ信州」の利用の普及に努めた。学校ごと、学年ごとなどの登録、教育活動への活用によって利用登録者数は伸びてきたが、目標値には届かなかった。						
指標③	少年自然の家利用者数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況 未達成
利用者数は回復基調となったが、新型コロナウイルスをきっかけに当施設を利用していた県外学校が地元利用に変更するなどの学校行事の形態に変化がみられることから、目標値には届かなかった。						

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・チラシ配布や関係機関へのメール、会議等での講座紹介を積極的に行いながら、参加者を募ってきたが募集人員を満了した講座数を大幅に増やすことができなかった。講座内容等の工夫が必要である。
・市町村と県による協働電子図書館については、「学校教育との連携」に重点的に取り組んだことにより児童生徒の登録が着実に増えてきたが、全体としての利用登録者数は伸び悩んでいるため、一般の利用者に向けた広報をもさらに充実させていくほか、「読書バリアフリーのさらなる推進」「地域資料の充実」についても引き続き重点的に取り組んでいく。
・少年自然の家利用者数については、学校行事の実施形態の変化等により子ども達の平等な自然体験活動の機会が減少し、体験格差が懸念されている。多くの人々に豊かな自然環境を有した当施設を知ってもらうこと、自然体験活動を提供することが課題となっている。

(2) 事業改善の方策

・参加しやすくなるような講座名、開催日時、開催方法の工夫を図るとともに、移動時間を考慮した県内各所での開催に努め、参加者増を図っていく。
・市町村と協力して、様々な場面で活用できる広報ツールの作成等を行うなど、引き続きサービスの存在や概要の周知に努めていく。
・少年自然の家利用者数については、指定管理者と連携し、当施設について周知に努めるとともに自主事業の充実を図っていく。

事業番号	15 08 02	細事業一覧（令和6年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	社会教育を推進する施設の運営事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	生涯学習課

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	生涯学習推進センター事業費		11,974 千円	12,728 千円	15,126 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	指導者養成等の研修事業	直接	地域や市町村の生涯学習の振興や生涯学習によるまちづくりを支援するための人材を養成するための講座を開催 地域づくり推進研修26講座、地域と学校の連携推進研修2講座、地域の教育力向上研修4講座、施設開放1講座、スポット研修6講座		
2	施設管理運営事業	直接	生涯学習推進センターの管理・運営 年間 257日運営、公民館支援専門員等3人配置		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	県立長野図書館事業費		199,649 千円	201,695 千円	192,601 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	電子図書館運営事業	直接	・「市町村と県による協働電子図書館（デジとしよ信州）」の運営・充実 ・専門書・学術書の電子書籍閲覧サービス（KinoDen）の充実 「KinoDen」におけるコンテンツ数1,827点		
2	コンピュータ管理事業	直接	・図書館業務システム更新に向けた仕様等検討、契約準備 ・「信州 知のポータル『信州ナレッジスクエア』」の運用・充実及び更新に向けた検討 「信州デジタルコモンズ」における「インターネットで閲覧できるコンテンツ数」 5,271点		
3	県立長野図書館管理運営事業	直接	県立長野図書館の施設管理・運営 開館日数 280日		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	少年自然の家管理運営費		91,868 千円	166,476 千円	58,830 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	少年自然の家運営事業（指定管理委託料）	指定管理	・指定管理者により管理・運営。 ・自然体験プログラム等の自主事業の開催。 ・年間運営日数 望月313日、阿南299日 ・教育効果等の高い自主事業を開催（R6 望月37回、阿南17回）		